



八大龍王について

東町の東大橋南詰に八大龍王の碑があります。雨乞いの神として祀られてきたものです。元は旧教橋の南詰にありましたが、明治27年の水害で流され、捜索しても見つからなかったのが大正10年7月に発見され、8月1日に再度教橋南詰に安置されました。

その後、教橋の改良工事のため東大橋南詰東袂へ、しかしそれも交通事情で平成元年7月には旧東町農業作業場裏に、更に平成5年に赤川改修工事のため現在地に移転されています。

昭和年代終わりごろまでは7月15日が祭礼日でしたが、7月の第2土曜日に変更になり、それが今日まで続いています。

八大龍王とは8体の龍王の総称で、法華経の会座に列した護法の龍神で“八大龍神”とも言われます。龍王とは龍族の王で仏法を守護し、密教で雨を祈る本尊とされています。

8体の名称は右記のとおりです。 [文・故井上 清氏]

なんだりゅうおう 難陀龍王	ぼつなんだりゅうおう 跋難陀龍王	しゃがりゅうおう 娑竭羅龍王
わしゆきつりゅうおう 和修吉龍王	とくしゃかりゅうおう 徳叉迦龍王	あなぼだつたりゅうおう 阿那婆達多龍王
まなしりゅうおう 摩那斯龍王	うはつたりゅうおう 優鉢羅龍王	



ちゃれんじクラブの

(放課後児童クラブ施設)

整備について



大東小学校敷地内にて開設しております放課後児童クラブ（注1）「ちゃれんじクラブ」について、現在の施設は、昭和4、5年建築の旧大東幼稚園舎の1階を利用したもので、以前から施設の老朽化及び安全性の確保が課題となっていました。

また、平成25年度には大東小学校の保護者会や地域の皆様方より、ちゃれんじクラブ施設の建替えのご要望もいただいていたところです。

このような状況を踏まえ、本年度「ちゃれんじクラブ」の新施設の建設を計画し、このほど地域及び大東小学校のご理解をいただき、小学校校庭内（大東こども園北側）に建設場所を決定しました。新たな施設は「ちゃれんじクラブ」専用施設で木造平屋建て200㎡程度の面積のものを計画しておりま

す。今後は、秋頃より工事に着手し、来年4月の移転開設を予定しております。

工事に際しましては、近隣住民の皆様及び小学校校庭利用者の皆様方には、工事車両の通行や工事に伴う騒音等によりご迷惑をおかけしますが、この施設整備により子どもたちの安全な生活の場を確保し保護者の皆さまにも安心してご利用いただける施設としたいと考えておりますので、ご理解とご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。

注1) 放課後児童クラブとは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校就学児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図るための施設です。

雲南市子ども政策局子ども政策課 (TEL0854-40-1044)

職場訪問

皆さんの笑顔を大切にしてお手伝いをいたします

みなさんこんにちは。今日は雲南市社会福祉協議会在宅福祉部大東介護事業所を紹介します。私たちは大東町地域福祉センター「おおぎ」を拠点とし、53名の職員が5つの事業に分かれ活動しています。

- 居宅介護支援事業所おおぎ
- 通所介護事業所おおぎ
- 訪問介護事業所おおぎ
- 訪問入浴介護事業所おおぎ
- 介護予防はつらつ



今回は5つの事業の中から、雲南圏域に一つしかない訪問入浴介護事業をご紹介します。

当事業所では自宅で入浴ができない方、デイサービスへ出かけることが困難な方に、居室において入浴サービスを提供します。看護師1名・介護職員2名がチームとなり、組み立て式の浴槽やお湯、その他必要な物品を準備して訪問します。入浴には身体を清潔にすること、温まることによって疲れがとれる、血行が良くなるなどの効果があります。実際に床ずれが改善したケースもあります。「気

大東介護事業所 所長 上代 町子
持ち良かった。」「温まったわ。」など、とても喜んでいただいています。

私たちは、主治医をはじめ他の事業所とも連携を取り、安全な入浴を心掛けています。「もうお風呂には入れない。」と諦めている人はいませんか？

たとえ1回だけでも希望があれば伺います。ぜひ声を掛けてください。

最後に私たち在宅福祉部では、「その人らしい普段の暮らしを支え続け、一人ひとりを見つめた介護サービスの実践」を目指しています。

介護のことで何かお困りのことがありましたら、大東介護事業所へご相談ください。



市老連ペタンク大会 北町「北寿会」優勝

雲南市老人クラブ連合会主催の第10回健康づくり親善ペタンク大会が7月4日(木)、加茂中央公園スポーツの丘において開催されました。これには、6月に開催された大東町の大会で優勝～4位入賞した4チームが出場しました。その内大東地区からは北町「北寿会」と大木原「明朗会」の2チームが代表で出場、午前のリーグ戦1位の北町「北寿会」チームは決勝リーグでも日頃の練習の成果を如何なく発揮、全勝で見事「優勝」。出場したチームの中でも最年少チームの北町「北寿会」は若さで他チーム

を圧倒、無欲の勝利を成し遂げました。また、大木原「明朗会」もふれあいリーグ3位グループで見事第1位と成りました。

健康と親善を目的とした本大会は、老人パワーで朝方の雨も吹き飛ばし終始和やかな雰囲気で行われ、途中6羽のコウノトリの優雅な舞の応援に感動しながらの大会でもありました。

ちなみに一昨年・昨年は西本町「松寿会」が優勝しており大東地区が3連覇となりました。

(記：西村)



今月のパクリ



上町 ハ千代会
笹巻づくり(6月19日)



丸子山を愛する会
丸子山清掃活動(6月23日)



こぐまちゃんくらぶボランティア
文科省読書活動優秀団体表彰

令和元年度

あいあい募金助成事業決定

平成30年度中に皆様から「あいあい募金」にいただきましたご寄付は、総額440,045円の寄付金30件と、大東高校下宿生に対する玄米30kg1件でした。誠にありがとうございました。この寄付金は申請内容審査のうえ、令和元年度地域活動補助金として次の団体に交付することと致しました。

団体名	事業名
清田みこし会	清田活力事業
北町4班「延命地蔵の会」	北町延命地蔵さん公園化事業
新庄南自治会文化部	自治会交流文化祭
光明寿会	花壇の維持管理事業
大東の歴史を探ねる会	郷土の歴史文化研究事業
ほんわか会	本町ごうぎんふれあい花壇整備
北町とんど祭保存会	伝統行事継承と世代間交流
大東地区観音まつり保存会	大東地区観音まつり継承事業
新庄通学路等ボランティアの会	地区民の安心安全確保活動
光舞ほたる	よさこい踊りで元気発信
大東踊り河北保存会	河北盆踊りの保存継承事業
大東七夕応援計画	僕らの七夕祭り参加者拡大計画

あいあい募金

ご寄付に感謝致します

事務局 TEL.43-2130

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

- ・大東町(南本町) 武田 隆 様(香典返し)
- ・大東町(上町) 後藤 千昭 様(香典返し)
- ・大東町(南本町) 坂本 守 様(香典返し)
- ・大東町(西町) 福間 清 様(香典返し)
- ・大東町(東町北) 上田 一子 様(香典返し)
- ・昭和31年度大東小卒業生会
代表 八幡 文男 様(一般寄付)

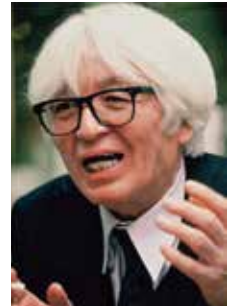
令和元年 6月末現在の 人口・世帯数 【()内は対前々月比】	項目	総人口	男性	女性	世帯数	高齢化率
	雲南市	37,986人(▲134人)	18,331人(▲53人)	19,655人(▲81人)	13,760世帯(▲17世帯)	38.65%(+0.09%)
	大東町	12,151人(▲27人)	5,926人(▲13人)	6,225人(▲14人)	4,179世帯(±0世帯)	38.47%(+0.06%)
	大東地区	3,537人(▲22人)	1,698人(▲9人)	1,839人(▲13人)	1,247世帯(▲4世帯)	—

資料：雲南市HPより

まなびの泉

雑感 『日本人の顔』

大東小学校 校長 村尾 隆晃



「日本人の顔が醜くなった」とは、小・中学生のために『21世紀に生きる君たちへ』という文章を書いた昭和を代表する偉大な作家、司馬遼太郎さん（1923～1996：大阪市）の言葉です。司馬さんはその著書に『竜馬がいく』『翔ぶが如く』など明治維新を題材にした小説も多くありますが、この言葉は、その取材をする中で見つけたことらしいのです。

かつて、幕末に浦賀に来航したペリー提督は日本人の「高い倫理観」に驚いたそうです。小さな島国の文化程度の低い東洋人だと侮（あなど）っていたら、「侍」のみならず、日本人全体が高い道德性と気品と品格を備えた礼儀正しい国民であることにびっくりしたのだそうです。

高度経済成長期、日本が活気に充ち満ちていた昭和30年代、東京オリンピックや映画『三丁目の夕日』の時代。国は豊かではなくみんなが一生懸命働かないと生活できない時代でした。それでもお互いに助け合い、一台のテレビを近所の人と一緒に観て楽しみ、夜になっても戸締まりをする家はほとんどありませんでした。また、家族全員がそろって正座をしてご飯を食べていました。そのような時代、美

人や今風に言うイケメンではないけれど何とも魅力的な「いい顔をした大人」がたくさんいたと司馬さんは言います。司馬さんが亡くなって23年、その頃でさえ「醜くなった」と司馬さんが感じられた日本人の顔は、今やどうなっているのでしょうか。

最近「SNSを悪用した犯罪」「振り込め詐欺」など相手の弱みにつけ込んだ卑劣な犯罪や凶悪犯罪に係る報道で犯人の顔を見ると、率直に「醜い」と感じます。どうやら人は「心」のあり方「考え方」や「価値観」によって、その姿を少しずつ変えていくものらしいです。その変化は、顔（表情）に最も顕著に表れます。

大東小学校の子どもたち一人一人の顔を見ると「真っ直ぐに瞳を輝かせた」いい顔をしています。とても美しい顔です。

全ての子どもが、今の顔のまま、自分の力を社会のために最大限に生かし、他と共生できる「いい顔の大人」「美しい顔の日本人」に成長してほしいと願ってやみません。

保護者・地域の皆様に愛される「こども園」をめざして

雲南市立認定こども園大東こども園【幼稚園】 園長 土江 真子

「木を植えると20年後の世界が見える。孫ができると50年後を想う」は、ある北海道の酪農家から聞いた言葉です。現在、小学校の学童「チャレンジ」の施設として活用されている広場と、小学校校舎の間に「欒」の木があることをご存知ですか？地域の皆様の中には旧大東幼稚園施設出身の方も多くいらっしゃると思いますが、実はその欒は旧幼稚園のシンボルツリーだったそうです。「木にブランコをかけて遊んだり、よじ登ったり、夏になると葉が生い茂り日陰になって木の周りで遊んだりしていた」と、その当時、勤務されていた先生から聞きました。そして、平成7年、現在の施設になる時に、シンボルツリーである「欒」を移植してほしいと頼まれたのですが難しく、新園舎（現在の園舎）になる時に、ブランコの横に、新しく「欒」を記念に植えられたということが最近になって分かりました。

欒は日本の広葉樹の代表格と言える木の一つで、四季折々に美しい姿に変わることや丈夫で大きく枝を広げて育つことから、欒のように子どもたちに感性豊かで元気に大きく育てほしいという願いが込

められているのではないかと思いました。この話を聞いてからはブランコ横の欒が一段と素敵に思え、この園舎ができた時からずっと園の生活、子どもたち、そして私たち職員のこともしっかり見守ってくれている歴史の証人のように感じました。

現在、こども園にある欒も大きく生長しています。幼稚園からこども園になり3年目を迎えました。幼稚園籍だけではなく、保育所籍の園児も預かり、18時まで教育・保育を行っています。地域の皆様、どうぞいつでも子ども達に会いに、欒を見に来てください。保護者の皆様・地域の皆様に愛される『こども園』になるよう、教職員一同、誠心誠意で努めていきたいと思っています。



昭和56年秋 幼稚園祭り 欒の周りでおみこし



すくすく育つ 現在園庭にある欒の前にて全園児30名で記念写真



いつかは故郷のために

兵庫県神戸市（西町出身）狩野 雄作



終わりとなる見込みです。

ここ数年は西町で暮らしている共に90歳を超えた両親の顔を見に、年4、5回は帰省できるようになりましたが、以前は色々な面で余裕がなく、故郷への想いは募れど何もできなかったのが実情です。日頃は西町隣保の方々やご親戚に大変お世話になっており、本当に有難く感謝しています。

今、私が勤務している東京（単身赴任先）では朝から病院や鍼灸院、健康教室はご高齢の皆様でどこも大盛況です。都会では老若男女問わず、コミュニティに何とか加わって孤独から逃れようとしている人たちが驚くほど沢山居ます。昨今は全国どこでも見慣れた光景なのでしょうが、この大東では近隣同士の「お世話の精神」と、この「まるこやま」から感じ取れる「温故知新のこころ」で自然で温かいコミュニティが出来上がっているなと感じます。

昔は故郷は随分離れていると感じていましたが、今は距離的にも気持的にも本当に近くなりました。帰省時にはこの「まるこやま」や市の広報誌を始め、回覧物を興味を持って楽しく読ませて戴いています。以前と比べては失礼ですが、広報誌は住民にわかりやすく、親しみの湧くものになりました。

今はまだ慌ただしく働いている身ですので、故郷への協力・支援という意味ではふるさと納税程度ですが、いずれはコミュニティに自分から参加し、これまでお世話になったことへの恩返しができるよう、今から心掛けておきたいと思えます。今夏に催される大東小学校同窓会（還暦を迎えて）が楽しみです。



自宅付近の高台から神戸港を望む

にがおえて
こんにちわ!

“勾玉”と“大東”と“お茶”

元博物館勤務 鳥谷芳雄（春殖下組）



（絵：大東町東町北 細田 滋）

私はいま縁あってお茶屋さんでお世話になっています。ここには勾玉玄米茶や玉緑茶といった、玉の名前がついた商品があります。勾玉といえば古代以来の装飾品であり、あの独特なカーブが魅力です。これにちなんだ商品名のもは他社にもあって、当店だけとは限りません。それは島根が誇る共通のブランド名だからでしょう。

ところで、勾玉などの玉類が昔大東でも作られていたことをご存知の方は意外に少ないのでは。“一体どこで？”とか“どうしてそんなことがわかるの？”と思われるに違いありません。答えは現在の大東高校グラウンド。以前ここから製作途中の玉の未製品や、材料の水晶などが見つかっているのです。玉の生産地となるとすぐに玉造が思い浮かぶでしょうが、大昔の玉作は玉造だけでなく、広範囲に及んでいました。その一つが大東の地でした。

当店の勾玉茶をよくみてください。かたちが勾玉に似て、くるり丸くなっていることに気づきます。地元の茶葉を用い丁寧に作られた大東茶の製品であり、名前だけのものとは違うのです。簡単ですが、“勾玉”と“大東”と“お茶”がつながる話を紹介させていただきました。

郷土の暮らしと文化

大東の町づくりと「大坂屋」の事績

大東の歴史を探る会 石飛 一成

天下分け目の戦いといわれる「大坂夏の陣(1615)」を境に太平の世に移り変っていきませんが、その節目に生きた一人の武将の子息・子孫が大東に一家を成し、町の礎を築く記録の数々を記したものが「大坂屋系記」として残されています。

歴史的に考察されるべきところもありますが、町民としては目を通す価値は高いものと考えています。今まで世に出ることもなかった古記録でありますが大東地区自治振興協議会生涯学習委員会活動の一環として、有志を募り数年かけて解読に務め、可能な周辺調査を重ねてきました。令和元年を期し、いよいよこの度発刊に至りました。原本に忠実に随うものの、平易に理解できるよう、常用漢字に改め、ふりがなや解説を付し、読者の理解を助ける工夫がしてあります。

特筆すべきものとして、県道「松江木次線」(現在の市道「上町西町悠々線」)あたりを流れていたとする「清田川」を藩の許可の下、現在の位置に付

け替えて広大な農地を確保したことがあげられます。このことにより、町の産業振興が図られたことが推測されます。また、当時の暮らしと文化を知る上でも貴重な遺産であると思っています。

今後は、更に町民の暮らしと時代背景の考察を重ね、現在が如何に安全安心の社会であり、その中に身を置いている有り難さを共有できればと思うものであります。



大坂屋(木村家)の墓(宗専寺墓地)

大東のなつかしい風景や人々の生活を写した写真がありましたらご提供ください。(編集委員会)



この人に聞く

田部 一男さん

(北町在住)

七夕の「スイカ提灯」作りの真っ最中、手を休めて応えていただきました。大工職人の腕を買われ一番大事な骨組み(枠組み)を担当、今年も100個以上のスイカ提灯を作りました。今回は、北町の「タナベのカーヤン」こと田部一男さんの登場です。



Q 竹トンボ、キリギリス3重奏をはじめ、蛙の魚釣り、蟹等竹細工を始めたきっかけは何ですか？

「小学校の夏休みの宿題で、キリギリスの竹細工を出したところ展示もしてもらい、先生、保護者の皆さんに褒められたことがありました。その後大工となり、年令を重ね一段落した時、そのことを思い出し、もう一度作ってみました。意外といいものができてね。」と微笑みます。

竹トンボは、ネットを見て面白いものがあるなあと、挑戦、作ってみました。竹の先にトンボの口を引っ掛ける。羽と身体のバランスが難しいよ。後戻りのできない細工です。(私も自宅の玄関に飾ってます。)

Q 製作はどこで？

工房、アトリエ等特にないので台所とか勝手口とか、移動式アトリエ(自家用車)の中かな。道具も一緒に移動するけん何時でもどこでも作業できるよ。

Q 「座右の銘」「人生訓」とかありましたら聞かせて下さい。

大工として弟子入りし、師匠から「道具を大切に」、「仕事は、真心得・・・」を 忘れずにやっています。いつも自分の家を建てているつもりで取り組んできました。これからも変わらんよ。

Q 畑、野菜作りも熱心ですが他に趣味は？

(研究熱心だもんね。)

出来た野菜は、殆ど人にあげます。でも漬物は母の残したレシピのおかげで上手にできるようになってね。

若いときは、海釣りに行っていたけどね。最近は畑の方が落ち着いていいわ。(キュウリのビール漬けも美味しかったよ。)

Q 地元の伝統行事、催し物等に積極的に参加し、後継者の育成にも尽力されていますが今の若い人達へ期待することは？

若い人には、積極的に参加して欲しいね。参加して我々の頑張っている姿を見て真似して伝統を守り継承して欲しいね。

早寝、早起きの模範となる毎日の生活、朝刊の届くのが待ち遠しいと言うほど早くに眼が覚めます。新聞を一読後、町内を私有車でパトロール、街中の状況を把握します。又、人からの頼まれごとは、断れない性格、自然と仕事は増えます。

色々な作業でも人が嫌がり、難しく面倒なことは、進んで引き受けます。

そんな人柄が信頼と友好の輪を広げ、「田部のカーヤン」は殆どじっとしていません。でもね、身体だけは、大事にしてね。(記 西村)